



# 彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部  
The Institution of Professional Engineers, Japan 埼玉県支部

## こうほう・Vol.6 2015.10.1

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1-706B  
埼玉県支部事務局 TEL:048-263-0840, Fax:048-263-0841  
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

### 目次

巻頭言	埼玉県産業技術総合センター長	中村雅範
支部長所信表明	日本技術士会埼玉県支部長	渡辺孫也
平成27年度 年次大会報告	総務企画委員長	松井 繁
地域産業支援委員会報告	地域産業支援委員長	穴戸富雄
教育推進・CPD委員会報告	教育推進・CPD委員長	増古恒夫
	理科教室の取組み 理科実験教室支援小委員長	黒澤兵夫
地域委員会報告	地域委員長	町田 博
協賛団体の紹介『有(中村金属工業)』	総務企画委員会	

### ★ 巻頭言

#### 埼玉県産業技術総合センター長 中村 雅範



我が国においては、長期間の景気低迷もようやく回復基調がみられるものの、消費税率の引き上げや、円安、原材料高など中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状態が続いています。このため県内企業の将来的な発展には、企業ニーズに対応した支援が必要とされています。また、国際競争が激化する中、地域の実情に詳しい地方自治体が主体となり、日本の競争力向上をねらった「通商産業政策の地方分権化」が推進されています。

こういった背景から、埼玉県では「次世代産業・先端産業の支援」、「がんばる中小企業の支援」、「県内企業の海外展開支援」などの産業振興策に取り組んでいます。なかでも「次世代産業・先端産業の支援」における「先端産業創造プロジェクト」は、国際的な競争においても勝ち残れる新たな産業を創出し埼玉県に集積させようとするもので、当センターでもロボット、ナノカーボン等の分野において研究開発や企業への技術支援を担っています。このような国際化や新技術への対応といった時代や環境の変化を捉えた支援に対する期待の高まりにとともに、県内唯一の公設試験研究機関である当センターの役割はより重要なものとなってきています。

そして、これらの使命を果たすには、県内企業のニーズに沿った付加価値の高い支援を行うことが求められ、その実現にはこれまで培ってきた技術を一層磨き上げ、更に専門性を高めていくことが必要であると考えています。

しかしながら、複雑かつ細分化する技術への対応は当センターだけでは困難な事象も多く、それを補うには公益社団法人日本技術士会埼玉県支部の皆様との連携が不可欠であると考えています。貴支部事務局は当センター内に設置されていることもあり、日頃から当センターが実施する専門家派遣、技術交流会や技術相談会など、数多くの企業支援の場で御協力をいただいております。今後も多様化する技術課題に対応するため、埼玉県支部の皆様のご豊富な経験と技術、そして多彩なネットワークは大きな力として期待するところでありますので、引き続き県内中小企業の発展に向けて御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 支部長所信表明

埼玉県支部長 渡辺孫也

本年7月3日の統括本部理事会におきまして埼玉県支部長に再任されました。支部の発展のために全力を尽くして参りたいと決意を新たにいたしましたところでは。

今期の役員会は24名の体制となりました(支部HPを参照下さい)。そのうち新たに幹事となられた方が9名誕生しました。役員会に新風を吹き込んで頂くことを期待したいと思っています。

埼玉県支部の重要課題について以下にご紹介します。一つは、新しい組織として発足した東部、北部、西部の3地域の小委員会活動が、この2年間で地についてきました。この活動は地域の活動を活発にすると同時に新たに活躍して頂ける会員との出会いも目的としていますので、今後とも強力に推進して参ります。次に、理科実験支援小委員会の活動

の活発化です。教育委員会や県立総合教育センターなど公的諸団体との連携を取り、一層強力に進めたいと考えています。最後に産業



支援関係では、コラボ産学官埼玉支部との連携協定も取り交わしましたので、更なる活発化を期待したいと思います。また本年度から埼玉県において新しく始まる「中小企業の経営革新計画支援」事業には、最重点で協力・支援をしていくことにしています。

新体制のもと役員一同、支部発展のために全力で取り組んで参りますので、皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 年次大会報告 ～技術の力で地域の発展に貢献～

総務企画委員長 松井 繁

平成27年度埼玉県支部年次大会が8月1日さいたま新都心ビジネス交流プラザにて、56名の参加のもと盛大に開催されました。大会は渡辺支部長の挨拶で始まり、特別記念CPD講演として、「Suica ペンギン空を飛ぶ」との演題で、JR東日本メカトロニクス(株)代表取締役社長 椎橋章夫氏から、国鉄民営化に伴う強烈的な構造改革と意識改革があり、社内のイノベーションの気運を高め、Suicaの開発と導入につながったこと、導入にあたってはお客様に新しい商品をマニュアルなしで間違いなく使用して頂くため、様々な工夫や実験を繰り返したこと、その後も進化し続けており社会生活向上のインフラとして役立っていることなど大変有意義なお話を聞くことができました。

年次大会では、まず渡辺支部長より支部活動方針として、関係諸団体との連携を密にしていくこと、今年度の重点活動に注力することが説明され、続いて各委員会委員長より委員会活動と計画について報告と説明が行われました。その後、今年度の3件の重点活動計画として、①理科教室の取組みに関して、

その主旨、今後取組むべき項目と当面実施すること等について、②経営革新計画支援活動に関して、根拠となる法律とその目的、支援内容等について、③地域活動に関して、東部、北部、西部各地域小委員会の活動等について、それぞれの小委員長より説明されました。最後に渡辺支部長より新役員の紹介と閉会挨拶がありました。

閉会后、懇親会が行われ参加者相互に交流を深めました。



(年次大会 懇親会より)

## ★ 地域産業支援委員会活動報告

地域産業支援委員長 穴戸 富雄

当委員会の役割は、埼玉県の地域に根付いて地域産業の皆様方（企業、官公庁、金融機関、研究所、その他諸団体様）と連携しながら地域の発展に貢献する事としています。埼玉県支部にはここ1、2年各種団体様からの様々なお相談が増加してきました。特に県内中小企業様からのご相談が来ております。更に埼玉県から平成27年度より「経営革新計画支援」事業への技術協力依頼をいただき当支部としても全面的に協力する事とし、本年5月にはそれに対応する組織を発足させ担当会員を明確にしました。その上で各地域の商工会議所、商工会様を訪問し技術士の広報をしております。

今年度の地域産業支援委員会の活動組織は、昨年同様に次の三つのグループといたします。

**Gr 1：〈社会貢献活動〉** 産学官連携と地域防災活動への参画が本年度の重要テーマです。

**Gr 2：〈地域産業支援活動〉** 県内企業様への技術課題解決のお手伝いを、過去8年間コラボ産学官埼玉支部様との連携により実施してきていますが、その他の団体様との連携も強め地域産業の支援を充実させていきます。

**Gr 3：〈技術士のPR活動〉** 展示会、講演会等の場を通じ、広く県内の皆様方と双方向の話し合いを通じて、技術士のPR活動を行います。

今後我々の活動が実を結ぶには、技術士一人ひとりが地域の発展のため何をしたら良いか？を行動を通じて勉強していきたいと思っております。

皆様方のご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

## ★ 教育推進・CPD委員会報告

教育推進・CPD委員長 増古 恒夫

### 1. 委員会の活動紹介

本委員会は、1) 技術士研修・CPDの企画、実施、2) 理科教室の支援、3) 科学技術人材育成による技術士制度普及を担当しており、基本的に毎月1回CPDセミナー（見学会2回/年を含む）を開催しています。

科学技術立国を目指す上で、若年層の科学技術人材の幅を広げることは埼玉県でも大変重要になっており今期より取り組みを更に加速・拡大する計画です。CPDセミナーに関する実施計画等お知らせは日本技術士会ホームページや会員向けメールで発信しております。本委員会への企画等ご希望・ご意見をお寄せください。

### 2. 理科教室の取組み

理科実験教室支援小委員長 黒澤兵夫

将来の科学者・技術者を育てるため、種々なツールやコンテンツを開発・作成と指導・育成を行っています。今回、文部科学省の主催による、理科教室

の参加実施内容について紹介します。

サイエンスカフェ「ひかりが生まれるひみつ」

Quizと実験を行う、出席者参加型の理科教室です。なぜ？思考する楽しさを与え、大きな興味から理科大好きとなり将来の科学者・技術者へとつながる期待が持てます。

電気・電子・ひかりとは何か？電気⇒電子⇒ひかりの変化？スーパーコンピュータとは？

日時：H27年4月18日（土）、場所：科学技術館、出席者：小学生・父兄37名



(科学技術館における理科教室)



## ★ 地域委員会報告

### 地域委員長 町田 博

埼玉県支部地域会員の交流促進と技術士活動支援を目的に、県内東部、西部、北部に小委員会を設置し、講演会、見学会等を企画・実行します。各小委員会のH27年度の活動内容を紹介します。

#### 1) 東部地域小委員会

##### ① 産業技術見学会

H27年12月14日(月)(予定)

利根川大堰(行田・羽生)を最初の見学施設とし、400年前の徳川家康から始まり、現在も国土交通



(春日部市ホームページから)

省で進められている利根川東遷事業の施設・遺跡を巡る。移動中のバス内では車内セミナーを

行い、首都圏外郭放水路(写真参照:春日部・庄和)にて見学終了予定(申込はHP、CPD行事より。)

#### 2) 西部地域小委員会

##### ① 第1回講演会 H27年7月4日(土)

参加者41名、会場:ウエスタ川越

- 1) 「川越地域における技術士活動について」
- 2) 「私の起業とコンサルタント体験談」

##### ② 見学会等(検討中)

#### 3) 北部地域小委員会

##### ① 北部地域技術講演会 H27年6月27日(土)

参加者22名、会場:熊谷市立コミュニティセンタ

- 1) 地下空間を利用した浸水対策の課題と対策事例
- 2) 新幹線羽田空港駅新設構想について

##### ② 第12回北部地域技術交流会(予定)

H27年11月5日(木)

地域産業支援委員会と共同で出展します。北部地域会員の展示員参加を募集中です。

## ★ 協賛団体の紹介 『(有)中村金属工業』

中村金属工業様は、ステンレス全般、特殊鋼全般、アルミ等の各種研磨(#400、#600、#800、鏡面、HL、バイブレーション)やステンレス加工(加工サイズは5,000W×24,000Lまで可能)を中心とした会社で、昭和43年に創立し、その後事業の拡大に伴い昭和57年第一工場、昭和60年第二工場、平成3年茨城工場と生産拠点を次々と拡充しています。研磨設備は既成の機械ではなく、社長が自ら考え、アイデアをまとめ、関連機械会社に作らせており、自社で使う全ての加工機械は中村金属工業設計の専用研磨機です。金属の鏡面加工技術は奥深い技術ですが、当社は、機械の調整以外の

要素である作業者の眼力・判断力などの指導も徹底的に行い、日本有数の研磨会社になっています。

一方、家庭向け風力発電などの新製品開発にも力を入れており、技術士に対して本業の技術向上とともに新しい技術導入にも期待されているとのこと。なお、埼玉県支部でH26年3月1日に開催した「彩の国産業活性化交流会」のパネルディスカッションにパネラーとして、三木社長にご講演いただきました。

ホームページ: <http://www.naka-kin.co.jp/>

(紹介文: 総務企画委員会)

## 🌀 編集後記

今回は新しい役員による委員会の新年度活動内容のご紹介を中心に特集を組みました。それぞれの委員会は、会員の皆様方に満足いただける活動を目指しています。

会員の皆様も、各委員会の活動への積極的な参画をよろしくお願い申し上げます。[ 総務企画副委員長 村山 肇 ]

おくづけ 公益社団法人日本技術士会埼玉県支部

こうほう・彩の技術士 第6号

発行年月日 平成27年10月1日発行

発行所 埼玉県支部

E-mail [saitama@engineer.or.jp](mailto:saitama@engineer.or.jp)

編集 総務企画委員会